

氷 真つ白 スキー場の木々 霧 五ヶ瀬 ゲレンデに初雪

強い寒気が流れ込んだきょう、五ヶ瀬ハイランドスキー場がある五ヶ瀬町鞍岡の向坂山(標高1684㍎)では、霧など空気中の水蒸気が氷となって樹枝に付着する「霧氷」が見られた。

霧氷は、氷点下の時に霧が樹枝などに氷となって付着する現象。この日の同スキー場は明け方に

ちこめる中、周辺の木々は氷をまとって「真つ白な花」を咲かせた。また、この冷え込みにより、同スキー場では初雪を観測。降雪機を稼働させるなど13日のオープンのに向けたゲレンデづくりの作業も加速させてい



木々を覆う霧氷 (きょう午前、五ヶ瀬町鞍岡)

けさ、延岡で3・4度

県内はけさも全域で冷え込んだ。氷点下となった所はなかったが、延岡では3・4度と今季最低気温を観測、高千穂よりも寒い朝となった。

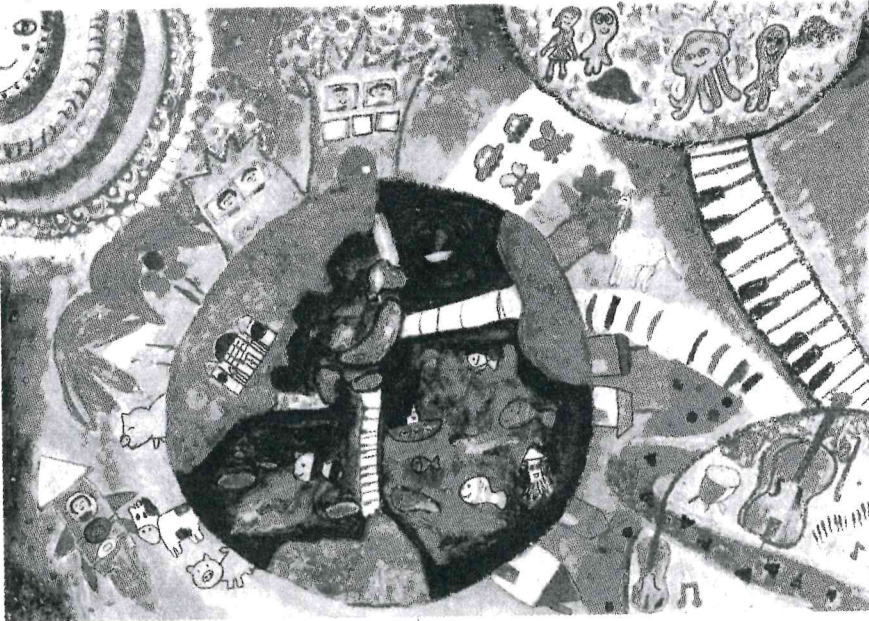
- 【けさの最低気温】神門 〓0・8度▽鞍岡 〓1・3度▽延岡 〓3・4度▽高千穂 〓4・2度▽日向 〓5度▽古江 〓7・1度

世界ハビタット・デー記念絵画

上杉真代さん 延岡から初の銅賞

アジア太平洋地域のカレンダーに選抜

12/3
延岡市旭小学校5年の上杉真代さんが、国際連合人間居住計画(国連ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当)主催の「第19回世界ハビタット・デー記念絵画コンクール」で3位に当たる「国連ハビタット賞銅賞」を受賞した。11月21日、延岡市稲屋町のエンシテイホテル延岡で表彰式があり、表彰状と副賞が贈られた。



上杉さんの作品。ハビタットカレンダーの4月の図柄になっている

同コンクールは、アジア太平洋地域を中心とする小学4〜6年生を対象に募集し、優秀作品でカレンダーを制作。その売上金が同地域の水・衛生環境改善事業のための水事業に使われる。今年には「まち」をよくするための「イノベーション」をテーマに募集し、9カ国から544点の応募があった。

世界で起きているのをニュースで見ても「みんなが安全に住めるような世界になる」といふ「な」という願いを込めた。好きな音楽も作品に詰め込んであり、惑星同士をつなぐピアノの鍵盤をモチーフにした道は、楽しい雰囲気を生み出している。



国連ハビタット賞銅賞を受賞した上杉さん

「このように描くかを考えること色の調節が難しかった」と上杉さん。しかし描いているうちに「これを描こう」と次から次に思い浮かび、2週間ほどかけて完成させた。受賞式は、ハビタットの活動に賛同し、市内の心算窓口を務めている国際ソロプチミスト延岡(片伯部久美恵代表)の例会の中であった。表彰状、副賞の地球儀、上杉さんの作品がプリントされたパスルが片伯部代表から手渡され、会員から大きな拍手を受けた。

同会の大坪真佐美さんによると、同コンクールには13年ほど前から毎年延岡から応募しているが、12人の1人は上杉さんの作品も含め、受賞した7カ国12人の作品が印刷された「ハビタットカレンダー」は、インターネットで入手できる。

「世界のまち」に住みたい

上杉さんが絵に添えた作文を紹介する。

今の世の中で、同じ国の中で内戦、もめ事や争いが起きています。地球を中心に環境の無い世界で、みんなが仲良く明るく楽しく安全に暮らせるようなバリアフリーのまちが頭に浮かびました。食べ物や病気に苦しまず、いつも音楽が流れ、カフセルや羽の付いた車や音の鳴る橋を渡って宇宙へも自由に行ける「世界のまち」に住みたいと思いました。

2019.12.19